

2023年度 宝塚市立末広小学校環境体験学習報告書
「生きものつながり探検隊」

写真・記録 高橋美千代

日時	2024年1月23日(火)	天候:晴れ
場所	視聴覚室・武庫川河川敷	
目的	「鳥の特徴」「鳥の生態」を学ぶ 武庫川に飛来する渡り鳥をはじめ、野鳥の生態を観察する。 1年間の「生きものつながり探検隊」のまとめをする。	
児童	末広小学校3年生1組21名 担任 中島先生・2組21名 担任 佐伯先生・付き添いの先生1名	
MNC スタッフ	総括:村上 今西・坂本・高山・平山・村越・軸屋・仲谷・八尋・山本・小山・詠田・木茂・樋口・吉田・木村(俊)・新宅 森永(啓)・高橋(美) 19名	

◆スケジュール

8:45	MNCスタッフ末広小学校視聴覚室に集合	打合せ・準備
9:00	児童視聴覚室に入室 はじめのあいさつ	先生・村上
9:05	鳥のお話	吉田
	双眼鏡の使い方説明	吉田
10:00	武庫川河岸へ出発! 朝礼台前に集合 武庫川河岸で野鳥観察(班単位で行動) 安全な場所から観察し、河川敷下へは降りない (スコープは、順番に)	班担当者
10:45	観察終了・武庫川河岸を出発→学校へ 学校到着後トイレを済ませ視聴覚室へ	班担当者
11:05	鳥合わせ	班担当者
11:30	1年間の「生き物つながり探検隊」のまとめ	村上
11:45	児童の感想	村上
12:00	終わりのあいさつ	先生

◆視聴覚室

「吉田さんの鳥のはなし」

- ・水に浮かんでいる鳥は何をしているかな?
- ・水辺を歩く鳥は何をしているかな?
- ・水に潜る鳥は何をしているかな?
- ・くちばしの色々な形はどんな役に立つのかな?



子どもたちは質問にどんどん答えていく。最初から双眼鏡をそばに置いていなかったの、お話に集中していた。双眼鏡の使い方では、机の上にあるカワセミやオシドリに、一生懸命ピントを合わせていた。

◆武庫川河原



河原ではカラスが外ビを追い回しているのを発見! 今日はお日様が出ていて対岸の水辺にじっとしているコサギ・アオサギを見ることができた。スタッフの熱心な掛け声のもと、子どもたちは双眼鏡で見つけようとする。イカルチドリやコガモなどの名前を鳥のプリントに記入していく。(写真提供:樋口さん)



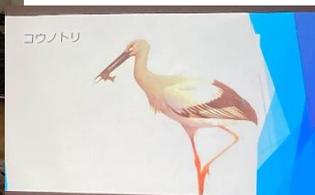
「青い宝石」と呼ばれるカワセミをスコープがとらえた！子どもたちは「お腹がオレンジや！」と大喜びで私たちスタッフものぞかせてもらう。可愛い～！チョコンとじっとしてしてくれる。帰り際にユリカモメの乱舞が見られ子どもたちはうれしくて、なかなか集合できなかった。ユリカモメを子どもたちに見せてあげられたのは良かった。学校に戻ってスタッフと鳥合わせをする。



◆視聴覚室

「生きものつながり探検隊」のまとめに入る

- ・3年生は夏・秋・冬の3回の自然体験学習を終え、食べることは繋がることを確認する。
- ・いつもの食事から具体的に発表していく。
- ・“兵庫県の鳥”であるコウノトリを例に挙げ、自然を大切にしていかなないと絶滅してしまう事を知る。



◆児童感想

- ・たくさんの鳥を見られて良かった。
- ・ハクセキレイを初めて見た。
- ・カワセミやトビが見られて良かった。

◆生きものを大切にするにはどんなことをすればよいか？(村上さんからの問いかけ)

- ・子どもたちからは町を掃除する、環境破壊をやめる、ごみを捨てないなど。

◆まとめ(この1年間を振り返って)

- ・自然の中で遊んだり、観察をしたりしていく。
- ・プラスチックを捨てない。
- ・外来種を飼うときは、最後までお世話をし捨てないように。
- ・家族の方やお友だちとも自然の事について話し合ってもらいたい。
- ・自然と仲良くしてほしい。

◆雑感

寒い日でしたがお日様のお陰で、鳥たちをしっかりと見る事ができました。肉眼でも見えていたのでスタッフとも共有ができて楽しそう。スコープの中の鳥たちは見て見てと言わんばかりに、こちらを見つめてくれていました。スタッフの言葉がけにも熱が入り、それに応えようとする子どもたちとの微笑ましい光景がみられました。最後のまとめでは、「お友だちと話し合ってください」と村上さんからの提案で、班ごとに話し合う様子が印象的でした。3回の自然体験学習でしたが、発表も活発で自分なりの意見を言葉にできる子どもたち。食物連鎖について学び、自然を大切にするの意味を少しでも感じてくれたのではと思います。重たいスコープを抱えてくださったり、寒い中お世話いただいたスタッフの皆様、お疲れ様でした。